

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 特許公報(B2)

(11) 特許番号

特許第3655140号

(P3655140)

(45) 発行日 平成17年6月2日(2005.6.2)

(24) 登録日 平成17年3月11日(2005.3.11)

(51) Int. Cl.⁷

E 0 1 B 9/38

F I

E O 1 B 9/38

請求項の数 1 (全 8 頁)

(21) 出願番号	特願平11-257077	(73) 特許権者	000173784 財団法人鉄道総合技術研究所 東京都国分寺市光町2丁目8番地38
(22) 出願日	平成11年9月10日(1999.9.10)	(73) 特許権者	590003825 北海道旅客鉄道株式会社 北海道札幌市中央区北11条西15丁目1番1号
(65) 公開番号	特開2001-81704(P2001-81704A)	(73) 特許権者	000143019 株式会社ミツテック 兵庫県加古郡播磨町新島21番地の1
(43) 公開日	平成13年3月27日(2001.3.27)	(74) 代理人	100089761 弁理士 八幡 義博
審査請求日	平成14年2月13日(2002.2.13)	(72) 発明者	阿部 則次 東京都国分寺市光町二丁目8番地38 財団法人鉄道総合技術研究所内
			最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 タイプレート式レール締結装置

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項1】

次の各手段を有することを特徴とするタイプレート式レール締結装置。

(イ) レールとまくらぎの間に設置されるものであって、レール底部がかかる幅の左右に、レール頭部が受けてレール底部に伝達される横圧力を受け止めるショルダーが、必要とするレール扛上量に対応した高さで、レールの長さ方向に沿って、板ばね幅が入る間隔を置いた2箇所に隆起形成され、その間隔部には締結ボルトが貫通し得る左右長穴を有し、且つ装着される板ばねのばね尻がレールの左右方向に移動するのを防止するためのばね尻受け凹部が形成されている鋼鉄製のタイプレート

(ロ) 横断面が湾曲横U字状で、U字の尻部分が下方へ曲がり、U字開口部の下端側はレール底部を抑えるクランク形状であり、横U字の上下を締結用ボルトが貫通し得る左右長穴を有する金属製の板ばね

(ハ) 締結用のナットと板ばねの間に入れられるものであって、締結用ボルトが貫通しうる長穴を有し、平面上に置いた場合に上面が長穴の長手方向に傾斜するような足部が長穴長手方向の前下部および後下部の少なくとも一方に設けられており、前記板ばねの湾曲横U字状上側片の湾曲部に長穴方向を同じくして載置したとき、その長穴方向に移動させたり、向きを逆にするにより、前記板ばねの長穴方向の傾斜が変わっても、上面を締結用ボルトの軸方向に対し垂直な面に合わせることのできる金属製板状の補助ばね

(ニ) まくらぎの、前記タイプレート設置位置に植設され、装着される前記タイプレート、板ばねおよび補助ばねの長穴を貫通することになる締結用ボルト

10

20